

女性という名の疾走

岡本 悠

わたしは、女性が好きである

なぜ、好きか？

みんな、お茶目だからである

どんなに一生懸命な人でも、真面目な人でも、ユニークだ

たとえば、嫉妬なんて、おもしろいではないか

わたしが、歌を唄うとき、

A子のために、うたうのに

B子は、それを聴いて、いぶかしがる

はたらくとき、列にならんで、女性にゆずると

それを見ていた女は、嫉妬する

男も、男女がキスをしていれば

美男美女の場合、嫉妬するが

女は、きりつける

一概に、戦争を反対するのは

女性であり

男性は、もちろん反対もするが

もっと、良心的である

野球で、エラーをした時、キレルのは 男だが

女は 決してキレナイ

むしろ、なぐさめようとする

そういった、違いを感じても

女は、強い目を持っている

女というのは、子供の頃のほうが強い

歳を追うごとに弱くなる

男に見つめられる時、

小さな女の子は、ジッと見て、目を逸らさないが

幾分、歳を重ねた女は、目を逸らす

そして、どんなに力が強い格闘家の女でも

ひ弱な男に対してでも

見つめ合えば、目を逸らしてしまう

これは、女が弱いという意味ではない

そこが美しいのだ

プライドという面では、

女のほうが強い

男はフラフラするが

女は決めたことは最後まで実行しようとする

要するに

わたがしのようなものだ

粘土でいくら、こねても、なにもつukれないのに

すぐに、油蟬のように、しんでしまう

ひらがなをつかうのが、女であり

漢字ばかりをつかうのが、男である

だらしないのが、男であり

ちゃんとしているのは、女だ

うぶ、な性格は、男の本性だが

けいけんをつむのは、女だ

クリスチャンのかねがなるのをまつのは

いちがいに、男だけではなく

おんなのほうである

セックスで、愛を求めようとするのはおんなだが

セックスで、快楽を求めようとするのはおとこだ

暴走族の総長になるのは、きまって男だが

家庭をとりしめるのは、おんなだ

さて、男女の比は、この辺にしておこう

先日、銀座で、覆面のおとこたちが、時計店で暴れた

その時、ゆうかんにも、扉をとじようとした女性がいた

こういうとき、男は危ないと感じてものおじするが

女は、まっすぐだ

なら、岸田首相を襲撃しようとした時

犯人の男を、1人のおじさんがおさえこんだが

これは、ゆうかんだろうか？

これは、見栄である

姉が、こういった

今日、男2人が駅でけんかをしていた

だから、まわりのおとこたちに

けんかをとめてと云ったと、

おとこたちは、こわいが

見栄をみせなくてはいけない

宇多田ヒカルは愛されない

それは、男にも女にも

CD が売れたのは、曲がいいからではなく

あいされないからである

これは、どういう意味か？

人は、愛するものが活躍すると、嬉しくなるが、

興味のないものには、けんおかんをしめす

宇多田が、あいされないのは

みりょくがないのではなくて

なにもが人よりすぐれすぎていた点である

顔はどうか？

まあ ふつうだろう

センスはばつぐんだが

うったえかけるものはなにもない

それなら浜崎あゆみのほうがおいしい

倉木麻衣には、ばつぐんのルックスがある

そこがちがう

いかんせん、注意をはらうべきは

おんなとは、頼りになるものと、

ならないものがある

かたきりがたの、美女は

もう、それだけでじゅうぶんだ

しかし、もう、ブスだとしても

たたかいをあきらめないものは

きわめて、強い

この意味はなにか？

たとえば、おわらいげいにんには、ブスが多い

これでもかというくらいにブスのオンパレード

しかし、女優にブスは少ない

あいみょん、でさえ、

まあ、人の見方はそれぞれだが

美人とはいいがたい

ブスとババアがあいされない理由は

きたないからではなくて、

神とともにいえば、

興味の対象に、あたらないのだ

したがって、顔の美しいおんなは

みんな、努力をしなくていいのである

この意味はわかるはずだ

それなら、ブスは、どんな努力をすればいいのか？

答えはかんたん、

油蟬のように、死を待つのではなく、

美を目指すのではなく、

固有の個性をみがけばいい

あいみょん、なら、

音楽が、彼女を光らせた

固有の個性とは、

この世にいる以上、そなわっているものだから、

美は、ほどほどにととのえたら

すきなことをみがこう

さすれば、ひかりはさし、天女となる

ブルースをかなでるとき、

男には、陽気な声が多いが

女のほうが、しんらつである

これは、なにか？

女のほうが、ほんしつをりかいしている

男はくらいうたでは、駄目だとおもう

おとこたちは、そのひそな叫びをききたいのだが

のんきなしらべがおおい

安室奈美恵が、さいごまでたたかったのは

自分をつらぬくためだった

あのひとには、うそがない

だから、女性からあいされる

その点、宇多田はあいされないが

もがいてはいる

なにかとひっしにたたかってはいる

それが、彼女のみりよくだ

じゃあ、としをとればババアになる

ババアはどう生きるか？

美しいババアは、そのまま生きれば問題ない

問題は、ババアのほうである

かのじょたちは、さすがにもう

生きるすべをしっているが、

男には、愛されたいきもちはこのころ

せめて、きれいでありたいものだ

このとき、かんじんなのは、

ひらきなおることが

わるいことではないということだ

もう、わたしはババアだからと

ひらきなおったほうがいい

それはブスでもおなじことがいえる

わたし、ブスだから

といえる女性はずいぶん

もう、ちゅうねんだからといえるわたしの姉は強い

まあ、ブスではないが

かみくだいていえば

もう、ブスもババアも、たたかいからおりてしまえばいい

そのほうがかがやく

あいされようとするほど

なにもない

そういうことだ

一凛の綺麗な花が咲いている

それは、女性だ

女が女子会で男に言うテーマは悪口だが

これがいけない

もう、そこに魅力はない

きたない

さすれば、なにをはなすか？

品である

上品な話をしたほうがいい

男と話す時、

男に、下品な話はしないほうがいい

きたないからだ

ただ、はけぐちもひつようだろう

だから、できるだけ、1人のときに

なにかに吐き出すなり

ノートや、パソコンに、

とればいい

汚ギャルに近寄りたいたい男性はいないだろう

あなたが女なら乞食と付き合わないだろう

渋谷のおんなのこたちは

みんな逃げていった

逆も否なりだ

男は見栄であり

女はまっすぐであるが、

ただひとつたりないものがある

それは、愛せないということだ

どういう意味か？

愛は、はごろも のようなものである

いちがいに愛といってもふかいが

夕焼けをみるとき、うっとりするのが女で  
睨みつけるのが男だ

つまらない女には、共通点がある

それは、愛を、こわすタイプのにんげんだ

こわすとは、うばう、ねたむ、そねむ…

ではなくて、

ただ、たんに、無知なこと

女は結婚したら、おわりではないのだ

子供ができればそだてないといけないし、

子供がいなくても、自分の生き方を見つけないといけない

そんなとき、夫がつかれているのに、

無神経に愚痴をこぼすのは、品がない

夫をそっとしといてやることだ

ブロッコリーの焼き方がわからないなら

スマホで調べればいい

そのように、気をつかう態度こそ

一番、品のある女性である

マザー・テレサが、愛される理由は、

愛を与えたからではない

枯渴された、人々を

花開かせたからだ

そういうことは、現代でもできる

人助けだと思って

そっと 手を差し伸べてあげればいい

誰に？

自分より弱いと思う人に

いなければ

そのまま生きればいい

あなたは、マザー・テレサではないのだから...

女のよろいを、ぬぎすてるには

断崖絶壁から

女を投げ捨てるのではなく

その、ありがたみをかみしめることだ

きどらない女にとって

やさしさとは

無関心である

ならば、なぜ、あたりまえに

人を愛せるのか

それは、

もどる場所があるからだ

つまり

いつも、あくせくはたらくのではなく

家庭といういとなみに

ついついしている

かんたんにいえば

しぜんなのだ

椎名林檎がかっこわるいのは

えんじているからである

いつも なにかにおびえている

ひととちがう、じぶんをえんじることによって

こきゅうをしているが

ばけのかわは、かんたんにはがされる

宇宙のうらがわで

精子をはなったら

卵子がこきゅうする

それを いささか

めいわくそうに

ちきゅうがなめる

そういうデッドラインを

あまくみちやいけない

謝肉祭に

わたしがいかないりゆうは

ただひとつ

めんどうだからだ

あたりさわらないかいわをして

いごこちがわるいままかえる

それをひきずる

1冊のしょうせつができたとしても

なんのちががあろう

JUJUのいけないところは

うたのうまい、ホームレスを

ばかにしたことだ

あたりまえだが、

テレビにでているゆうめいじんが

ホームレスよりえらいわけではない

そのてん

JUJUの、うたごえは

権名にくらべて、おどおどしていない

ペシミストとしての自覚があるからだ

きよせいをはっていない

これがいきかただ

じゃあ、椎名は絶望かというと、そうでもない

椎名はポジションをえた

あとは

あたえられたしごとをまっとうしていれば

そこそこのにんげんとして

いきていくであろう

サッチャー首相のような女性が

イギリスをたてなおすには

ねばりづよい忍耐がひつようだった

それでいて

さいごは、クビである

アイドルというかんてんでいうと

なかば いまはAKBグループの時代ではあるが

うつくしい子は、まちまちである

キツネダンスのおんなの子たちは

とびっきり かわいいわけではないが

女というものは、愛らしいとかわいいのだ

バンドの、スキャンダルがいまのちいをえたのも

等身大の、成熟が、

まっすぐだったからであろう

そうかんがえていくと

スマートがいいのか、だくりゅうがいいのか、だが

いちがいにはいえない

そのひとがどういきるかは

だいたいこどものころからみていればわかる

おんなどうしで

はだかになって

あそぶということは

あらかた すなおなかんじょうだ

それが男だと

違和感がある

ゲイというのは

ゲノムのもんだい

つまり

レスポンスビリティなもんだいである

それをとやかくいうつもりはないが

レズビアンには

美しさがある

ただし その美しさをたもつには

スマートな2人であるといえる

かたいつぼうが、だくりゅうでは

ぎこちのないものとなる

安達祐実にとって

人生とは、だくりゅうであるが

そのことは、ほんにんもわかっている

まわりもわかっている

スキージャンパーの高梨沙羅にとって

人生とは、だくりゅうであるが

そのことは、おなじである

大坂なおみ、にとって

人生とは、

居場所がいいわけではない

どんなにグランドスラムをせいしても

こころは晴れない

家族がとってかわるかはわからないことにしておくが

そこでも、迷路にまようだろう

じぶんがなにであるかわかっていないから

SNS なんかにしているひまがあったら

じぶんをもっとおいこんでみつめたほうがいい

テニスもやめられるかもしれない

少し変わり

私の好きな、井川遥や、長谷川京子は、どうであろうか

彼女たちのことをかたってもなにもないのだが

ひとつだけいえることは

このじんせいのせいこうしゃということだ

それくらいでいいだろう

神があいする女性とは、どんな女性か？

それは、むげもなく明るい女性である

ようしは関係ない

例えば、山田邦子や、井森美幸、久本雅美、といった人物は、愚の骨頂だが

神の言うあかるいとは、

自然でいて、好奇心が強く、冒険家で、まっすぐな女性である

この条件に見合う女性は、まだ、私は見たことはない

神に、じゃあ、誰か？ と、例えるならば

いない、である

なぜ、いないのか？

それは、神の母、マリアがそうであったからである

マリアがそうであるならば、

女は、神が好きなのであれば、

マリアのような女性になりたいと思うかもしれない

しかし、それは不可能だ

あなたは、自然に、自分固有の形で生きていけばいい

すると、ここで難題が浮上する

神に 憑りつかれた私は、

井川遥が好きであろうが、長谷川京子が好きであろうが、

マリアのような女性でないのならば

結婚は不可能であろうか？

答えは簡単

イエスである

ならば、神を無視して、裏切って、好きな子を得ることは

できるだろうか？

答えは簡単

ノーである

なぜか？

神が、認めないからだ

すぎるであろう、結婚という味だけでも知っておきたいと、

でも、そんなものはいらないのである

結婚というものは、人間が作った制度

安易に乗ればいいというものでもない

じゃあ、ガールフレンドはどうだ？

イエスと言いたいところだが、

そこには、彼女との未来はない

付け焼刃の、恋愛なら

しないほうがいい

却下である

まだ、すぎる、

神の乳房を食いちぎって自律するために、恋をして、結婚する

それが、神を超越したことになる

答えは、簡単

ノーである

詰まるどころ、私は結婚できないように、セッティングされて生まれた

それでいいのである

諦めればいいのである

セックスについては、

女の身体とは、精密につくられている

逆転の発想で

なぜ、セックスをするのかを考えれば

気持ちいいからであるが、

それがわかると、

セックスも意味をもたなくなる

ならば、マスターベーションはどうだ

自慰行為である

女にとってのマスターベーションとは、

永久無比であるが

男とは、欲情の荒波にもまれる

石橋貴明が女を見るとき

まず どんな女かをチェックするが、

そんなことは、もう愚の骨頂である

石橋には、女を見抜く目はあるが、

本質的な理解には至っていない

明石家さんま、にいたっては

しゃべりすぎる

じゃあ、視点を変えて、

どんな男がいいのか？

というと、

いない

さすれば、神か？

と問うだろうが、

そんなのは、当たり前である

しかし、ここまで読んだ女は思うだろう

じゃあ、わたしは神と結婚したい

それが無理なら、

神が 憑りついたという、私と結婚したいと、

ブブー

駄目である

神は、私を結婚させないからだ

このパラドックスの中で生きる以上、

もし、結婚をしたい女は

適当な男を見つければいだろう

女には難しいが、

ほんとうにわかる女なら

結婚をしない道を

この意味で選ぶのが得策だ

じゃあ、なぜ、神は私に恋をさせたのか？

経験を積ませただけだ

もう必要はない

女とファッションについて

コスプレというものがある

ナース、キャビンアテンダント、ラウンドガール、学校の制服、OLの服装…  
なんでもいいが、

そういったものですら、女は、色を変える

童顔について

わたしが、バーで好きだった、おんなのこは、童顔である

日向坂46の、まなふい、こと、高瀬愛奈は、童顔である

ここに、美人という観点は薄い

あるのは、かわいい、の一点張りである

犬を見る時、かわいい、犬を選ぶ

ハンサムな犬などいない

いちゃつく、男女は、

男は欲望と見栄、女は甘えと羞恥心の中にある

ぶらさがりの、悪魔は

天女とかす

暴力をふるう男にとって

女とは、恐怖である

なぜなら

女に嫌われるからだ

自制心では、どうにもならない

それが、男の本質

それでいて、女の暴力とは

口答えである

口で暴力をふるう

これも、たいそうな暴力であるが、

男女、似たようなつめである

女性アナウンサーが綺麗な理由は2つある

それが、もとめられていること

そして、なによりも必然なこと

油蟬のように、

しっかりと、木にくらいつく根性

そういった、ものではなく

ただただ、あるのは、涼しいことである

セ・リーグの野球は、暑苦しいが

パ・リーグの野球は、涼しいのである

それが、女というものである

野球選手の妻に、女性アナウンサーが多いのも

美人が多いのも

すべては、いっかんして、涼しいからである

涼しいということは、

気持ちいいことであるから、

それが、未来永劫つづくのであれば

それをもとめるのは必然である

しからば、

綺麗とは、女の武器である

まれに、筋肉をじぶんのみにまとうのが、すきな女性がいる

ボディービルのことである

あれを求めるのは、人間としてのほんらいの姿ではなく

ようするに、自信がないのだ

内面に自信がないから

外面でおぎなおうとする

それは、男でもそうだが、

筋トレなんてする必要は

人間にはない

必要なスポーツでする場合であっても

その競技の練習をすればいいのであり

野球選手ならバットを振ればいい

球を投げればいい

サッカー選手なら、

サッカーのボールで練習すればいい

フィジカルと声もしそうだが

フィジカルなんてものは

使わないで、戦えばいいではないか

落合博満が、筋トレするだろうか？

遠藤保仁が、筋トレするだろうか？

補助の筋トレをするにしても

極めて、言ってしまえば

いらないのだ

大谷翔平のような身体に憧れるのはわかるが、

あれだって、

ホームランは、筋トレでつくったものだ

なんの価値もない

吉田正尚は、筋トレばかりしている

なんの価値もない

ナチュラルなことが

どれだけ自然であるかがわかれば

もう することはひとつ

何もしなくていいのである

女にとっての筋トレとは

みじめというより、ほかにない

しからば、女のダイエットとはなにか？

ふとった、おんなにとって

れっとうかんとは、ふとっていることである

これも、ナチュラルにかんがえたいが

いかんせん、たべすぎ、のみすぎは

アホである

それでいて、ダイエットするのは

アホの骨頂

脂肪吸引なんてしたひには...

さすれば、ふとらないためには

どうするべきか？

食べないことである

飲まないことである

どういうことか？

1日に3食食べて、あとはつまめばいいだけ

それで、じゅうぶんだ

うんどうなんてしなくていい

もちろん、過食してはいけない

すぐ、過食するものとは

怠慢なのである

こういうごく簡単な習慣だけで

あなたは、うんどうをせずとも

ダイエットできる

そういう意味だ

もともとのふとった女というものは

べつに、それが、あなたの個性であるのだから

マツコ・デラックスのように

見栄をはってればいい

それが、生き方の本質だ

彼氏のつくりかた

彼氏をつくりたい女性は多い

それでいて、ほんとうはめんどうなのだ

それは、男も一緒

その、最終手段は

彼氏をつくらないことだが、

それは、将来を心配して、できないのだろう

彼氏をつくるまえに

彼女をつくるまえに

何がたいせつかというと

一概にはいえないが

もう つくろうとするのをやめてしまうというところがまえである

恋人ができる人間なんていうのは

そんなことを、すでにいしきしていない

恋人をつくりたいにんげんが、恋人をつくったところで

それは、はたんする

神

つまり、自然の摂理にまかせて生きればいいのである

そこで できるかできないかはわからないが

それでいいではないか

と聴いても、さがすものは

おろかものである

豆電球のような恋

しからば、まめでんきゅうのように

ちいさくひかるいきかたとはなにか？

それは、自分を愛せる人間である

もちろん、人生経験はしぬまでつづく

しかし、あながち、まちがっていないのは、

自分を愛するとは、

神の言葉を信じられるものだけだ

神の言葉を聴けるものとは、

もう すべての人間であるから

あなたは、それにしたがえばいい

アップルとは、

りんごの

実をかじることである

つらいとき

彼氏がなぐさめてくれたら、うれしいよね

そんな、存在は、

実は、神かもしれないよ

神は男にも、女にも平等

ならば、身をまかせなさい

それが、まめでんきゅうのような

指紋であるのだ

今、あなたにつたえたいのは、

マンガのような恋愛ではなく

ドラマのような恋愛ではなく

歌詞のような恋でもなく

もっと、孤高で高い愛である

あなたを想う人は

実は、神の手の中にいる

どうしても、夢がかなわないなら

その夢を、捨ててしまうまえに

もういちど、かくにんしてみなさい

やきゅうは、こうきゅうと、なんきゅう、があるが

どちらがかたいかというと、

なんきゅうのほうが

はずむからだ

そういうじゅうんななところを

もっていくことである

しからば、愛とは

じゅうなんせいである

舞踏会の夜

あつまれないのは、

ここうな、にんげんだからだ

あいつがきにくわない

そういう、しんりがあるなら

いかないほうがいい

それよりも

愛が先行するならば

いけばいい

それだけのことだ

冠婚葬祭にしてもおなじ

かまえるひつようはない

きめつけるひつようはない

すべては、そのときにまかせればいい

ブラッドリーったらニャーオ！

愉快的、だんしせいとたちを

じょしせいとたちがながめている

大好きなせんぱいがいる

そういうおとめごころを

よゆうでみるおとこは

じつは、ないしんよわいのだ

おとこは、ハンターでなければいけない

そう、はんたー・はーすと・へるむすりーだ

おんなとは、まてばいい

それが、自然なせつりだ

それが、つまり恋の自然であり

動物、つまり、人間の

本来系である

わがままはひつようか？

恋人どうしにとって、

じぶんを、おしころすことは

ふしぜんではない

それは、れいぎであり

にんたいでもある

そのバランスは、

愛のしらべには、

かならず、たいせつになる

はしることは、

かたることで

あるくことは、

だまることだ

ようするに、

神なのであるが、

無神経なのは、

わかげのいたりであるから

しょうがないのだ

そんなことより

いまいじょうの未来で

ミスをしないうためには、

たたかをやめて

ぶきをすてて

およぐことだ

にんぎょのように

それが、おんなのすがただ

いかに、神とともに生きるかは

おんなの裸を

エクスタシーにかんじるのではなく

おんなの心を

エクスタシーにかんじることだ

かといって、無理におんなに会いに行くひつようはない

それも、自然の摂理だ

むりはしないことだ

それが神のいきかただ

神をきらうひととはどういうことか？

いない

神をきらうひとは、じつはいないのだ

これは、ほしょうしよう

神は、神とあなたしかいないのだから

なにをおそれることもない

小説にことばをつづるとき

えてしてでてくることばは

あいである

あいとは神の分身である

つまり、みんな神をうたっているのである

じゃあ、あいちゃんとはなんなのか

かみちゃんのことなのか？

じつは、あいちゃんとは、

神なのである

じゃあ、べつのなまえは、どうなるか？

それは、それで意味をもつ

はるかならば、愛であり

きょうこならば、愛である

けっきょく、神である

逃げ場なし

セサミストリートにおいて

せいゆうは、女であれば

女の子を、

男であれば、

男の子を、

歌う、しゃべる

おどる

そういった、ことも、

じつは意味がある

孫悟空のこえは、女であるが、

あれは、いただきのしらべだ

つまり、偶像をえがいている

ドラえもんのこえも

女だった

こうしたパラドックスのなかで

なにがたいせつかというと、

おんなとは、うけいれることができる

という、つよいいしがある

女同士がおんなをいじめるとき

そこには、ねたみ、そねみ、はじ、があるが

愛は、けたたましく

つまり、神は、

愛を、捨てないだろう

つまり、いじめとは

わるいことではあるが、

自分がなんであるかをしるてがかりになる

それがわかれば

もう、自分の行きたいみちをあるけばいい

固執するひつようはない

がっこうなら、やめればいいし

舞踏会なら、いかなければいい

しかし、子供のころという時代は

親のきょうせい、しつけ、におそわれる

ならば、どうするか

もう 身をまかせるしかない

それが親であり

神のみちしるべであるからだ

それもしぜんなのである

おんなのあるべきかたち

おんなとは

たたかいのなかにいる花である

そんな、しらべのさきに

とうとい、たましいがやどる

コウロギが鳴くとき

静かに、きいているのは

おんなである

ゆるやかなさかをのぼるのはおんなであり

傘をさすのもおんな

工事渋滞をしはいするのは

男の怒りであるが、

おんなは、ドーナツなどをたべて

しらをきる

あいされたいのがおんなであり

それは、なんさいになってもかわらない

母が、やさしくされたいというとき

あの子が、やさしくされたいというとき

そこには、愛のレノンがながれる

それでいいのだ

すべては、澄んでいる

それが、こたえである

おんながあいのうたをくちずさむとき

意味をきいているのは

おとこいじょうに、おんなである

おんなはすじをまげないきものだから

おんなはきょうかんする

いっぼうで、おんなのたかわらいほど

むなしいものはない

あれは、おとこのころを無条件にきずつける

おんなは、おんなのたかわらいなど、はなくそである

おんなの武器は、つめであり

凶器なのだ

すると、ひとつのぎもんが

おんなとは、つよいのか、よわいのか、

こたえは、かんたん

よわいのだ

さすれば、おとこは、

よわいのだ

しからば、にんげんとは、

よわいものだ

ならば、神はどうなのか？

よわい、はずがない、

なぜなら、完璧であり

ミスターパーフェクトであるから、

つよいのだ

それだけである

円陣を組むとは？

おんなどうしが円陣をくむのは、不自然である

なぜなら、

男のような、なかまいしきがそんざいしないからだ

ラグビーで、サッカーで、

円陣を組むのは男だ

ならば、おんなの円陣とは、どういうものか？

おじぎである

男のおじぎとは、にあわない

せめて、似合うのは、土下座くらいか？

それは、はじだからだ

男はにあう

おんなのおじぎは、うつくしい

演者とは、おんなであるとき、

はじめて、意味をもつ

おんなの哀愁ほど

せつないものはない

かんがえようによっては

もう、おんなの愛を

すがたをかえて

笑わせるほうがいい

つまり、

いみじくも、

ゆうちゃみ、のように

ダンスにはげみ

うたうのもいいが、

やはり、おんなとは

きよらかに、

ながれればいい

ベナンの女

黒人にとって、

うつくしいとは、

もちろん、セックスの対象ではないのだが、

より、原始的な部類に属する

アフリカ、ベナンでは、

女とは、やはり、おんなでしかない

種族の多い国だから、

マライヤ海峡に

種族を投獄したとき

生きているのは、

我慢強い、女だけである

ベナンの女とは

貧しさをのりこえた

ほんとうの女なので

ありがたみをしっている

そういう、摂理原理を

あらかじめ

しっておくのもわるくない

ようするに

愛がそなわっているおんなの典型なのだ

そう考えていくと

先進国の女性はどうなのか？ というと、

汚染された、国々で

もう、生き方をわすれている

それは、ぶんめいがつくりあげた、さんぶつであり

しょうがないのだが、

争いのない国には、

平和がやどるわけでもないので

結局のところ、

はなさかじいさんではないが、

わるいやつらは、

富に吸収されていく

それが、ダイヤとかたられるならば

それが、

シェイプ・オブ・マイ・ハートである

つまり、澄んだところである

女がスポーツを観戦する時、何を見ているか？

それは、内田篤人のイケメンではなく

ベッカムのモヒカンでもない

さすれば、ジャニーズかという、そうでもない

自分である

男は、試合を見ているが、

女は、自分を見ている

それが、どういうことかという、

女には、涙がないのだ

感動することがない

でも、泣くだろう

それは、自分に泣いているのだ

男が泣く時、

その愛するものを、総合して泣くが

女は自分に泣く

そもそも、勝ち負けなんて、どうでもいいとおもっている

そこが、おとことのけっいてきなちがいだ

澤穂希が、宮間あやが、上野由岐子が…

もとめるのは、勝利ではない

もっと、誉れ高いものだ

それが、女の、美学であり

男のように、優勝を喜ばない

これは、ほんとうである

なにかを目標に達成したとき、そして敗れた時、男はそれを嘆くが

女は、そこに付随した財産を尊ぶ

現代において、夫のいる女性が、お金を守られているからという古い理屈ではない

確かに、男が金を稼がないといけないという理屈もわかるが

そんなものは、神の名の元に生きれば、たいしたことではないのだ

よって、女とは、自分であり、

男とは、己である

意味はない

詐欺をしかけるのは男であり

詐欺に協力するのは、女である

女は詐欺を企画しない

では、なぜ、協力するのか？

易きに流されやすいからではない

PV で、銀行強盗を企画するのは、男であり

それに協力するのは、相川七瀬だ

それは、男のことが好きだからであり、

その為には、犯罪さえもおかす、まっすぐさ

携帯電話の会社で、犯罪を企画するのは男であり

上手く勧誘しようとするのは女である

相手の住所を聴き出そうとするのは男であり

それを、聴き出そうとするのは女である

こういうパラドックスを、人間は知らない

えてして、こういう、パンデミックのような

犯罪は、狡猾で卑猥である

男が愚かなのであり

女は、まっすぐなだけだ

でも、したがつたら駄目だろうという声が...

それは、僕としての、自分のポジションを守るためではなく

いかんせん、女とは男を立てるからである

玄関に男が現れて、つぼを買ってしまうのは女である

女とは、心理に欠陥があるのではなく

その、つぼに意味を求めてしまうのである

少年が、大谷翔平のホームランボールに意味を求めるのとは違う

内実には行っていくのである

他者はいるのか？ の永遠の問い

他者はいない、と、どんなに神が言っても、納得いくことができない私。

サタンはいる、ピッコロもいる、ベジータもいる、ただ、アリスはいない

つまり、根拠が欲しい、なぜなら、郵便局に行けば、

たくさんの女性たちが働いている、

そういうやり取りに緊張したくないだけなのだ

じゃあ、緊張とはなんなのか？

それは、ナーバスつまり、心臓の鼓動のブレである

これは、安易に片付かない、どうすればいいかは簡単

思い込まないことだ

神に委ねていればいだけである

それでも、かすかに考えてしまう

それでいいのだ

それをもって生きていくことが、

より自然な生き方だから、

そうでなくても他者がいるかは問題だ

他者はいない

それでも、ベーコンをかじっていいわけではない

つまり、デタラメを書けばいいわけではない

叫んでいいわけではない

それは、アイデンティティーの問題だ

つまり、今は、それでいいのである

直にわかることだ

ずっと、謎のまま、抱えていればいい

女の身体について

女のいやらしさとは、椎名ではない

それは、もっと卑猥なものだ

女の群れの中に、男が沈むとき

もっと大切なことは、

自分が一流ってということだろう

そんなことより

まあ、女の身体とは、

一概に、神の創造ではあるのだが、

女の心とは、神、ゼウスをもっていえば

うらはら、である

つまり、女の身体には

時計が染みついている

時計つまり、愛だ

愛があるから、服を脱ぐ

つまり、冬とは服を着るから

愛が消耗して、寒い

鬱になるのだ

じゃあ、どのように冬をのりこえるのか？

答えは簡単

裸でこたつの中にでも入って、みかん、を食べればいい

こたつがなければ、布団の中にもぐればいい

暖房でもつけて

裸が寒ければ、服を着てもいい

ようするに、冬とは、冬眠していればいいのだ

そこを、はき違えるな！

インド人の死骸

女にとって、アラブとは、石油である

つまり、アラブの女とは、宝石である

簡単に言えば、アラブの男とは金で、アラブの女とは、愛である

ダイヤは金で、ハートは愛である

愛は神の分身であるから、

答えは神である

ラブソングとは？

男が歌うラブソング

女が歌うラブソング

そして、女は、自分のことを歌う

けして、おとこのことをうたわない

ならば、

女のラブソングは、総じて、意味がないのか？

そうとも言える

でも、女の気持ちを理解することはできる

男のラブソングとは、キミのことを歌う

常識的な見解では、あながち、あいみょん、のようなラブソングがいい

浜崎あゆみ、のようなラブソングがいい

大黒摩季、のようなラブソングがいい

みんな、自分が自分のことを歌っているからだ

その説得力には、かなわない

そうじて、歌というのは、本人が歌を唄ったほうがいいというが、

あながち、間違いではない

それは、下手であろうと関係ない

それも味である

むかし、むかし、

おばあさんが、おにぎりをつくっていた

おじいさんは、昼休みにそれを食べた

愛である

私が、ラブソングやロマンスを好む理由は、

気のせいではない

そういう時期だからではない

もう、そういう身体の体質だからでもない

神の畏でもない

それこそが、私の全体だからである

よって、すべてのラブロマンスを書き上げても、尚

ラブロマンスしか、意味をもたない

それは、同じ人間に対してで いい

さして、それにおいても

神が落とすから

それでいいではないか

相撲を好む女性とは？

相撲を好きな女性は多い

力士が、守ってくれそうだからではない

力士を見て、心を打たれたからではない

相撲という形を、愛しているのだ

それ相応の愛というものはある

相撲には、着物を着ている女性がいる

それこそが、彼女たちのフィールドだ

あそこに、私服を着ていくのは、まだ愚かなのである

女は、あそこに、着物を着ていかないといけない

それが、女を磨くことになるからだ

シマウマと女

狩りの際、一番マヌケな獲物は、シマウマである

女でいえば、裸に近い格好の女である

そんな女がいれば、男たちは、狩りに出る

しかし、それが正しいのかというと、

つまり、じゃあ、女が捨てて、

Gーパンと、厚手のジャンパーでいいのかというと

そこには味がない

女は、それを、あからさまに、警戒するのではなく

武器にすべきだ

つまり、場所をわきまえた服装をすればいいだけだ

自分の好みのファッションをするのではなく

ワインにはワインの、ビールにはビールの格好がある

一概に自由といっても、裸で歩く女には、未来はない

ヒョウ柄のズボンをはく女には、

強さはあるが、男は近寄らない

なぜなら、そこに女がないからである

浜崎あゆみはどうかというと、

やはり、女としては、色気が落ちる

女のスーパーヒーローかというところでもない

大阪のおばちゃん、どまりである

なら、浜崎はどう生きていくべきか？

もう、行き場なしなのか？

なーに、彼女には、詩があるではないか

神は、そういうことを言いたいのだ

浜崎がドレスを着ようが、何を飾ろうが、それはどうでもいい

ただ端に、詩を聴きたいだけである

そういう存在なのだ

ファッションリーダーでもなんでもない

藤原紀香や佐々木希の場合

藤原紀香や、佐々木希は、お笑い芸人と結婚して、離婚した

それが、どういう意味をもつのかというと、

彼女らには、楽しくて、面白い人、そして、ある程度カッコイイ人を選んだわけではない

本気で恋したのだ、

しかし、浮気をされた

そこの真実とは、

彼女らには、魅力がなかったのだ

美しいのかもしれないが、

つまらないのだろう

成功者でもない

それは、離婚したから、浮気されたから、失敗者ではない

まぎれもなくピエロを愛したからだろう

それなら、大竹しのぶ、は、どうだ

ピエロを愛した

ビートたけしの妻も、石橋貴明の妻も、そうであろう

ピエロとは、何もわかっていないものだ

浮気や、離婚というものは、刻印である

究めていえば、結婚というものも、ピエロであり、刻印なのだ

どうすればいいか？

結婚制度というものを廃止すればいい

おそらく、人間は、ここしばらくは、それに気づかないだろう

子供をどうするのか？ 誰が面倒を代表してみるのか？

それは、動物を見ればいい、

産んだものが、代表して育てればいい

まだ、わからないかな？

男は種をつけたらまた狩りに出ればいい

女が産んだ子供を育てればいい

ライオンはそうしている

それだけのことだ

愛という嘘

それを踏まえたうえで、人間には知能があるとか、

そんなものが、どれだけ邪魔なのかをわからないといけない

女は愛を求めたくなるが、

男は愛を求めない

男にあるのは支配だけだ

それに女は気づかないといけない

男とは、嘘いつわりだと、わからないといけない

神は女にこう言うだろう

「女ではなく、メスになれと」

その意固地が、自分を苦しめていると

おんなははいせつぶつだ

と言われて、いちいちキレル、PTAは馬鹿だ

なぜなら、それが、本質だからだ

よって、女はメスになれ！

カチコチの女

喋り方や、態度が、見るからに不自然な女がいる

さまざま理由はあるが

それは、自然ではない

なぜなら、そう見えるからだ

不自然も自然という理屈にはならず

ただただ、不自然

この人たちにあるのは、

自分をよく魅せようという

魂胆でしかない

しつけ、や、経験から、きたものもあるだろうが、

自然とは、

流れる川である

じゃあ、不自然な女はどうするか？

不自然を殺すしかない

「あなた、喋り方が不自然ですよ」

と、言われたほうが、ほんとうはいい

でも、ショックを受けるだろう

ほんとうのことを言われたから

でも、それによってで しか、

自然への道はない

そのバイオリニストが弾く音楽は、不自然であり

その市役所長の仕切る街は、不自然であろう

それを言える人は勇者であり、

今の私ですら、できないことであるのだが...

なぜ、ちびまる子ちゃんの絵は汚いのか？

マンガ、ちびまる子ちゃんの絵は汚い

美形のカケラが何もない

あれは、作者の、さくらももこ、の、絵だからであろう

まだ、サザエさんの、作者の、長谷川町子の絵のほうがキレイである

クレヨンしんちゃんの絵も汚い

簡単に言えば、今のCGのような絵のほうがキレイでいい

そこのカラクリは、どうなっているのかというと、

CGは、人間の美を、そのまま反映したものである

マンガというのは、人間のデイモンつまり悪魔を、現したものである

そういうパラドックスの中で、

マンガとは、洞窟の中をもぐるように、運びこまれた愛を凝縮させた愛

つまり、アガペーである

ユングがいうところの愛である

じゃあ、小説はアガペーなのかというと、それも一概に外れてはいない、音楽であれ、なんであれ、これらは、愛ではあるが、ゆがんだ愛でしかない

この世がこれからどちらへ向かうかということ、

CGやロボットといった世界へ向かう

マンガも小説も、音楽も、死んでゆく...

じゃあ、そういうことにたずさわって生きていたものは、どう生きればいいのか？

答えは簡単

身を委ねればいいのだ

神である

デヴィ・スカルノ夫人は美人か？

デヴィ夫人とは、天皇家以上に、キレイに言葉をあやつる

美輪明宏は美人か？

美輪明宏は、女ではないが、まあ、ごく普通である

結局のところ、何もしないでいられる人が、この世の天下を取るとのことだけは、ハッキリしている

神も、そうしている

女の乳房とはなにか？

女の胸は、愛の彫刻であるが、この乳房に、からし、を塗れと言ったのは、高山善廣である

おっぱい、つまり、乳房は、男にとって、たまらないものであるが、それでいて、乳房に、もっと愛を詰めるには、女の心が必要である

つまり、愛を詰めるとは、神の神髄を受けることだから、女はそのままの自分をさらけ出せ

ばいいのである

セックスの時、パイズリなどの細工をする動画などがあるが、あんなのは愚の骨頂。ただ、女は、乳房を男に吸わせればいいのである。男はめんどろなことが嫌いだから、本質的には、細工など求めていない、単純に乳房を与える、それが答えである

女の陰部とはなにか？

女には、陰部にいろいろなものがついているが、これらはすべてにそうじて意味がある。例えば、クリトリスは刺激を吸収するものであり、膣は、委ねるもの、子宮は、子供を育てるもの…である

なにがいけないかを言うのは、却下するが、

体位とは、正常位、後背位（バック）、騎乗位、この3つでいいのである。あとは、たしなみをしたら、完了である

そういう、シンプルな知識を覚えておけば、セックスで苦勞することはない

泣く男と、泣かない女

男は元來泣いてはいけないものである。私は泣くことがしょっちゅうだが、神は泣かない。

女もよく泣くものはいるが、本来の、ホモサピエンスにおいて、女は泣かないのが常識だ、

ただ、泣くことは、涙の意味を調べれば、ダイヤの散乱であるから、悲しみを閉じ込めないほうがいい場合もある

どうすればいいか？

まず、前提として、泣いてはいけないことを知っておくべきである。その上で、涙を流すことは、人として恥ずかしいことではないのだ。ただ、闇雲に泣くのではなく、どうしても抑

えきれない時、我慢の堤防を越えた時、その涙は美しい。そういう経験を繰り返していくと、人間は泣かなくなる、それでいいのだ

なぜ、泣いたらいけないのか？

泣くということは、自分の感情を抑えられないということだから、幼稚なのである。キレテ爆発する者を見れば、バカだと思いうように、泣くこともキレタ状態にふさわしい。キレナイ男というのは、まず、泣かない。そういう知識さえあれば、キレヤスイ男かどうか、すぐに判断できる。それが答えである

口紅を、赤く塗る女

椎名のように、口紅を赤く塗る女は、自己顕示欲が強い

そんな、椎名のような女であっても、更にやっかいなのは、アメリカ人のような、赤い口紅だろう

どうしてか？

女の口には、静かな滝が流れていると想像すればわかる。滝に赤い色があれば、それは、死を意味する

ピンクはどうだろう？

滝がピンクならば、キューピットを現す

だから、闇雲に赤い口紅ではなく、ピンクをお勧めしよう

では、裸の口紅はどうか？

それが一番ふさわしい、

なぜなら、それが一番、愛を素直に表すことだからだ

リップクリームかい？

それは、好きにすればいいよ

とにかく、口紅は、なにもつけないか、意味をもたせるならピンクで、赤は死である

女と尻

女にとって、尻とは、キューピットである

女の尻がたるんでいるのは、ごく自然なことであるが、

それをむげに、鍛えてたくましくさせるのは無理がある

たしかに、おとこは、そういう尻を好むが

女の尻というのは、べつに鍛えるものではない

それでいて、美しいのだ

極上の快樂

エクスタシーを感じる時

やかんは、ふっとうするが

女は、あえぎ声をあげるか

だまる

これらをエロスにはてはめれば

こっけいなピエロが

すさまじいテクニックでイカセルのではなく

青い炎のような、分厚い情熱を感じるのである

それはごく簡単で

井の中で、蛙が泣かないように

フタをする

そういうことである

つまり、

絶頂とは、愛の沸点であるから

それが、女の牙であり

間違いのない愛である

少年のような少女

かけがえのない人とは

指輪を、はずしたがない

そんな人も、やがて歳をとっていく

くりかえすが

少年とは、いつまでも無邪気なひと

少女とは、かれんなひと

花びらのように

ごく 自然な

もう わずかな

散り方をするように

豊かに

けたたましい

愛をするのが

青春時代の醍醐味である

それだからこそ

人間は若いことをこのむ

ベストをつくしても

彼氏のために、なんでもしても

それは べつだんすばらしいことではない

犬のエサをやるのは

やりたいひとが自然にやればよくて

計画的に当番を決めるものではない

そういう、純粋なところを

もっていることが

だいじである

金とおんな

おんなにとって、金とは

ただの、財産にすぎない

金がなくても

おんなは生きていける

世の中に乞食が多いのは

ほとんどが男である

おんなの乞食というのは

マザー・テレサのような人だ

だから胸をはって

女はかねのことなど気にせず

生きていけばいい

おんなとマラソンランナー

有森裕子や高橋尚子のようなおんなにとって

マラソンとは

命がけのものであった

メダルも大切かもしれないが

それ以上に

人生にのしかかる比重がたかい

おんながはしるのは

自分のためであるから

「自分で自分を褒めたい」

と言うのだ

男は違う

男は、勝負に勝つ為に走る

だから 負けるのである

しからば

男はどんな気持ちで走ればいいのか？

偶然をよそおって

ランプをつける

コウモリみたいに

いかんせん

甘酸っぱい

みかんでも

食べて

己のために

走ればいい

ようするに

女のように走るということである

ゲノムと女

おんなに生まれる可能性は

そんなに高くはない

まれにおんなのほうが

たいへんというケースもあるが

男のほうが大変である

なぜか？

男の細胞とは

おんな以上に

過激なものをもとめるようにできている

戦いであり、

戦争であり

争いのことだ

おんなにはこれがない

その理由はきわめてかんたん

おんなにはたたかうしかくがないからだ

おんながたたかうのは

すべて 細胞の中で

ゲノムは決めている

これが俗に言う

人生は決まっている

である

よって

意気地のない男の人生とは

ゲノムの中に

しっかりと

プログラムされているのだ

男同士で争えないおとことは

おんなに近いのではなく

ただただ 意気地がないことが

インプットされているだけだから

気にすることはない

デブとおんなと

デブなおんなというのは

逃げ足が速い

その上、

責任をとらない

つまり、

やせたおんなというのは

もっと ほんとうの意味で

やせているので

遠回しに言えば

責任をとるのである

それは 愛の賛歌であり

ボイコットしたボートだ

夕暮れがしなだれたとき

震えるおんなは

からだか 持ち上がるのをかんじる

えてして そういうことで しか

感情をたもてない

デブのおんなは

鈍感だ

自分の利益しか考えていない

だから 無神経なことばを

はなつのである

やせたおんなには

これがない

ドーナツを食べているヒマがあったら

もっと やせる努力をしたほうがいい

これは真実である

高級クラブのおんな

キャバレーのおんなにとって

男とは

獲物でしかない

男は馬鹿だから

真剣に愛をもとめるが

成就する可能性は

皆無である

なぜなら、

これらのおんなにとって

男とは、

えものだから

つまり

金だ

愛はない

だから 男は

おんなのために

キャバレーには

いかないほうがいい

じゃあ、なんのために行くのか？

きばらしである

それ以上、深いものはいない

それが、風俗であろうとも

セックス以外

深いものをもとめてはいけない

そういうことである

おんなの見つけかた

おんなと出逢いたかったら

答えは簡単

旅に出るのではなく

店に行くのではなく

集まりに行くのではなく

ましてや、

マッチングアプリや出会い系ではなく

神に問いかけなさい

さすれば、神は、答えを提示する

いつまでも恋を追い求める理由

恋とは、懺悔である

懺悔とはつまり、後悔

でも、自分の成長には欠かせない

生きるとは、魂の成長であるから

さまざまな経験が必要である

もう 歳を重ねれば

あとは 自分のことだけでいいが

若いうちは

さまざまな経験が

自分を鍛える

その定義から言えば

女への恋は

一方通行ではなく

両想いでありたい

どうすればいいか？

これも、神に相談しなさい

答えは、簡単にふってくる

命がけの恋

アンバランスな恋とは

矛盾している

恋をしない男というのは

マザーに恋をしている可能性が高い

神もそうなのだ

神は、母・テレサを

敬愛している

しかし 人間というのは

それが、本来の姿であるのだ

マザコンとはなにか？

マザコンとは

マザー、コンプレックスではなくて

母への愛に 憑りつかれた凶器である

これは、神の姿勢である

なぜ、神は恋をしないのか？ というと

母への愛で完成されているからである

じゃあ、私はなぜ、人の子、つまり、母以外の女を愛するのか？

それは、母の愛が歪だったからである

本来は、母の愛が完璧ならば、それで十分だ

しかし、完璧でないなら

探しに行かなくてはいけない

そういうパラドックスの中で

どのように埋めればいいのかというと

自然な形は、

人の子を、愛さないという姿勢だ

つまり、ネイルと共に言えば

本来的に愛していれば、

自ずと、神が提示するのである

よって、ここでも答えは神である

おんなとコンプレックス

おんなは、コンプレックスを抱きやすい

それは、男の形とはちがう

おんなは、自分と他とを比べたがるが、

男は、激情の愛をもって、

向き合う

おんなが顔をコンプレックスにもつとき

比較してしまう

それに比べ、男は

真実の顔を求める

おんなは、顔が綺麗であっても

コンプレックスをもつ

それは、

どこまでいっても

比較なのである

いつまでたっても

ナタリー・ポートマン

には、追いつけないのに

比較する

それは、愚かだが

おんなというのは、そういうものだ

形なき愛

守護霊のように

無類のおんな好きの男は

実は、おんなをそんなにわかっていない

おんなとは、

品

すなわち、

美の裏側にある

かたちをもとめてしまう

ならば

そういう癖をなくさせないと

自然というものはないが、

男は、

明確にその自然を愛せない

これは、宇多田のスマートがいいのか

鬼東ちひろの、だくりゅう、がいいのか

という問いになるが

人間本来というものは

自然な川なのである

よって

宇多田の生き方のほうが、

自然である

明るさという点においては

大塚愛の「さくらんぼ」のような物を求める男も多いが

あれは、息抜きでしかない

大塚のほんとうは「プラネタリウム」のほうである

綾香にいたっては、

乙女を、身に着けているので、愛される

しかし、こけし のような男からは愛されない

もっと、気高い男から愛される

未練がましい女

男の未練がましさにくらべて

おんなとは、

ブラックジャックのように

おとさない

ある男にふられても愛するのは

恋をよく知らないこともあるが

結局は、男の愛し方も知らないだけだ

おんなは、ことごとく

男を変える馬鹿もいるが

純粋なものは、

1人の男を愛し貫こうとする

それが、やぶれたおんなは

キレタリしない

純粋に次の恋に進む

これが正常だ

よって 未練がましいおんなの恋とは

あわれであり

それは、男にもおなじことがいえるのである

宝ものを小説にするのはいいが

それよりもっと大事なものは、

自分の今を投影することだ

それが、一番、大切な姿勢だからだ

まあ、書きたいものは、書いておくことも

1つの財産にはなる

SPEED と、スピード

SPEED において、

一番美形なのは、上原多香子であるが、

一番、恋しいのは、今井絵理子である

エロスがあるおんな

渡辺瑠海アナウンサーは

エロスがある

こういう女性は、

男の対象の的である

いくら、森川夕貴アナがいいといっても

エロスは皆無

そこは、しらけるのである

色気とは、その女性の持ち味

井川遥にも、長谷川京子にも、仲間由紀恵にも、

それなりの色気がある

どうやったら色気を持てるかといえば、

エッチなことを考えているということではないが、

そういうテリトリーにも、

きちんと自分を意識させている女性である

その女性は、男をよくわかっている

自信があるおんな

自信があるおんな、とは、つまるところ

マリアのことである

マリアは神の母だが、

マリアは完璧であり、その子の神もマリアを愛したから完璧である

そんなおんなにどうしたらなれるのか？

簡単、

神にすべてをゆだねればいいのである

世界を征服するおんな

こんな野望を持つおんなはいないから安心したまえ

軍人になるおんな

軍人に服役するおんなとは

守りたいものがあるからではなく

自分のかたちを知りたいのだ

つまり、命をかける覚悟で入隊しているから

結局は、ハリケーンのような

生き方でも

大丈夫なのである

強固な、岩をも砕く精神で

働いているから

もう、ほぼ無敵

これは、男の兵隊とは

いたって違い

イラクへ派遣されようとも

アフガニスタンに派遣されようとも

命がけなので

それが、最終的に、平和を生むのである

おんな兵士とは、豊かなのだ

病弱なおんな

松井秀喜は言った「健康的な女性がいいですね」

これは、的を射ている

病弱なおんなとは、マザー・テレサのようなおんなではない

痩せていても健康的な人はいる

太っている、デブは違う

太っているのは、自然な摂理だが

デブは、端に怠慢なだけ

じゃあ、健康的とは、どういうことか？

精神が健康的かどうかである

精神が健康的であるということは、

身体も健康的になる

病気になる人間というのは

問題は、身体にあるのではなく

精神の問題なのだ

ならば、病弱なおんなはどうすればいいか？

神にすがればいい

神にお祈りすればいい

神社なんていかななくていい

その場所から「神い、お願い、どうすればいい？」と、叫べばいいだけである

答えは、どの人間にも降りてくる

料理が好きなおんな

料理とは、男か、おんなか、

実は料理とは、おんながするものなのだ

なぜ、おんな、なのか？

おんなには、温もりがあるが、

男には、ない

りんご、をむくとき、

おんな、がつくればおいしいが

男がむいたりんごはマズイ

ラーメン屋は、基本的に男が作るのが多いが

別に、体育系だからではない

でも、ラーメンであっても

おんなの、ラーメンのほうがおいしい

やさしいからだ

そのラーメンには、甘い香りがするだろう

こういう摂理原則は、昔は守られていたが、

昨今は、男が料理をするありさまだ

じゃあ、コンビニの弁当は

弁当屋の弁当は

おんなが作ったものを食べるには

それは、こだわらなくていい

肝心なのは

男が料理をしないでもいいという原則を知れば

おんなが料理をすればいいという原則を知れば

それだけでいいのである

勉強するおんな

勉強とは、まなぶことである

とかく、しけんべんきょうとは

おろかなものだ

多少の、がくもんとそろばんをすればいいのである

それは、がっこうというばしょでなくてもいい

マララのように、なにもなくても愛せるじよせいはいる

それは、マララのように、

15歳の女性でもできることだ

人間はおろかだから、マララのようなおんなの芽をつもうとするが

マララのような女性のほうが、純粹でふさわしい

動物を飼えば、すべてがわかるように

人間とは、動物のなかで、一番おろかな動物なのである

プロフェッショナルなおんな

たいくつしのぎに、はたらくのは

おろかではあるが

命をかけてはたらくのもばかである

はたらくとは、かねをかせぐためであるのだから

そこにいみをもたすひつようはない

ぶんめいがすすめば、はたらくひつようもなくなる

それまでは、かねのためにはたらくだけである

すきなことは、すればいいが、

それも、やがては、きえる

つまり、なにもしないことが

プロフェッショナルなしごとであり

それが、こたえである

みにくいアヒルのこ

ざわめきとは、こころの ことうだ

あらそいとは、たたかいであり

さけてはとおれない

でも、さけるには、

トランプのエースをひけばいい

つまり

たいけんすることだ

たいけんにまさるはっけんはない

泣くおんな

ないてはいけないのだが

ひんぱんになくのは わかいじょせいである

わかいじょせいのなみだは

しんじつである

かなしみとは

ようしゃなくおそいかかる

それをがまんするより

ないたほうがいい

でも ないてはいけないのだ

それにきづけるものが

ヒステリーもおこさず

かいてきなじんせいをおくることになるからだ

たたかうおんな

なぜ、男は戦わなければいけないのか？

それは、ただひとつ

強くないからだ

おんなはつよい

だから たたかうひつようはない

じゃあ、なぜ、たたかうおんながいるのか？

それは、おんなでないおんなだからである

おんなになりたければ、たたかいをやめることだ

狩りをするおんななどもんだいがい

しからば、おんなはたたかうな

である

イチローとつま

イチローは、真髓を得たおとこである

イチローと松井秀喜を足すと

最高の人格ができあがる

おんなはさいこうのいでんしを もちたがるというが

あながちまちがいではない

しかし 神という最高の存在を知らないおんなはおろかである

神とけっこん することはできないが

神のおしえをすることは、かのうだ

神の子とは、かけらであるから

そのピースをあつめれば

神にちかづくことはかのうだ

よって 神を愛すれば

さいこうの遺伝子をもらえるのである

神とはなれば

神の最後のことばはただひとつ

もう 神をさがさないことだ

そこまでいけば

しぜんと神は、あなたのせなかをおすであろう

夕暮れで神は云う

「これからは、1人で歩きなさい」と、

自律とは、

神から逃げることではない

神を背負って生きることだ

だから 神はあなたの心の奥で生き続けるだろう

神は、あなたを見ている

神は、あなたの中で生きている

他者はいない

神しかいない

男を睨むことをやめたいなら

そう神に訴えればいい

それが ほんとうの願いならば

神はそれに従う

もう 優柔不断にならないほうがいい

どうしたいかは、自分で決めることだ

最後にこの詩を書いて終わりとしよう

鳥とおんな

あの人は言った

「鳥になりたい」と、

あの人はいない

神が作ったものだから

その人もいない

神が作ったものだから

だから、もう、おんなを愛さなくていいのだ、神の愛だけでいいのだ

「完」